

平成 20 年度動物由来感染症の病原体保有状況
調査結果

細菌科

愛媛県動物由来感染症予防体制整備事業実施要綱に
基づく動物由来感染症疫学情報の収集を目的として、愛
媛県内のネコ及びイヌを対象に、トキソプラズマ原虫の抗

体保有状況を調査した。

平成 20 年 8～10 月の間、動物愛護センターに収容さ
れたネコ 102 頭、イヌ 121 頭(合計 223 頭)の血清を採取
し、トキシチェック-MT(栄研化学(株))を用いたラテックス
凝集反応によるトキソプラズマ原虫の抗体価測定を行っ
た。その結果、ネコ 2 頭及びイヌ 7 頭からトキソプラズマに
対する抗体が検出され、保有率はそれぞれ 2.0%
(2/102)及び 5.8%(7/121)であった。

動物愛護センター収容動物におけるトキソプラズマ抗体保有状況

種別	性別	検査数	抗体価(倍)						64倍以上(陽性) 件数(%)
			< 32	32	64	128	256	512	
ネコ	オス	39	37	2					2 (3.4)
	メス	58	52	4	2				
	不明	5	5						
	計	102	94	6	2				
イヌ	オス	74	66	4	2	2		4 (5.4)	
	メス	45	39	3	2	1		3 (6.7)	
	不明	2	2						
	計	121	107	7	4	3		7 (5.8)	